

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 2000-023434

(43) Date of publication of application : 21.01.2000

(51) Int. Cl. H02K 23/00

H01R 39/36

H02K 5/22

H02K 11/02

(21) Application number : 10-188690 (71) Applicant : KOKUSAN DENKI  
CO LTD

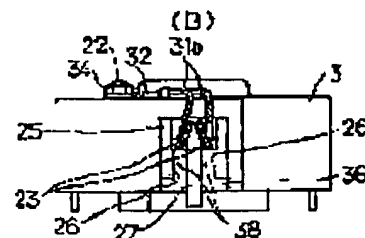
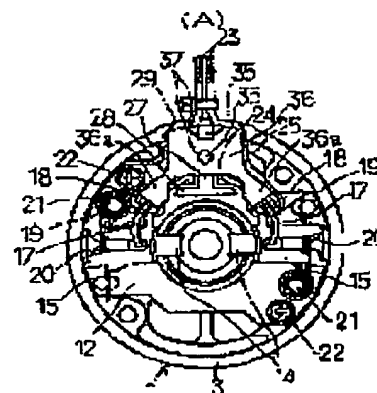
(22) Date of filing : 03.07.1998 (72) Inventor : SUGIYAMA  
DAISAKU

(54) DC MOTOR WITH BRUSH

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a DC motor with brush in which noise absorbing capacitors can be fixed easily in such a way that the capacitors are not moved by vibrations.

SOLUTION: A brush holding plate 12 in the cover section 3 of a DC motor is provided with a pair of capacitor housing chambers between a lead wire lead-out section 25 and a stopper wall section 28 on both sides of the extension of a partition wall section 27. In each



chamber, the noise absorbing capacitor on the corresponding side is housed. An insulation pressure plate 36 is arranged at the position at which the plate 36 covers a pair of lead wire lead-out grooves and the capacitor housing chambers on the side of the lead wire lead-out section 25 opposite to the brush press plate 12. The pressure plate 36 has a pair of wire pressure projections 38 which are respectively inserted into the lead wire lead-out grooves to press led-out lead wires 23 in the grooves and capacitor lead wires 31b on the other side.

---

#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-23434

(P2000-23434A)

(43) 公開日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(51) IntCl<sup>7</sup>

識別記号

F I

テラコト(参考)

H 0 2 K 23/00

H 0 2 K 23/00

A 5 H 6 0 5

H 0 1 R 39/36

H 0 1 R 39/36

S H 6 1 1

H 0 2 K 5/22

H 0 2 K 5/22

5 H 6 2 3

11/02

11/00

S

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平10-188890

(22) 出願日

平成10年7月3日(1998.7.3)

(71) 出願人 000001340

国産電機株式会社

静岡県沼津市大岡3744番地

(72) 発明者 杉山 大策

静岡県沼津市大岡3744番地 国産電機株式  
会社内

(74) 代理人 100073450

弁理士 松本 英俊 (外1名)

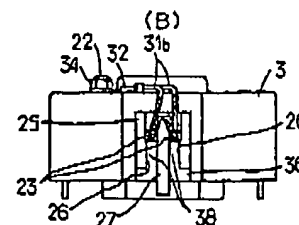
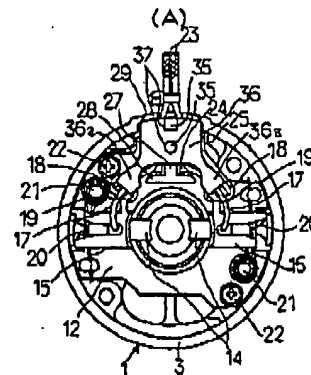
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ブラシ付き直流電動機

(57) 【要約】

【課題】 ノイズ吸収用コンデンサが振動で動かないように簡単に固定することができるブラシ付き直流電動機を得る。

【解決手段】 カバー部3内のブラシ保持板12には、隔壁部27の延長部分の両側で且つリード線導出部25とストップ壁部28との間の部分に1対のコンデンサ収容室を設ける。これらコンデンサ収容室には、対応する側の各ノイズ吸収用コンデンサを収容する。ブラシ保持板12にリード線導出部25を介して対向する側で、1対のリード線導出溝と1対のコンデンサ収容室を塞ぐ位置には、絶縁押え板36を位置決めして配置する。絶縁押え板36には、1対のリード線導出溝にそれぞれ挿入して内部の外部導出リード線23と他方のコンデンサリード線31bとを押える1対の線押え突起部38を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 金属製のハウジング内に配置された回転子及び固定子と、前記ハウジングの金属製のカバー部に固定されたブラシ保持板と、前記ブラシ保持板に保持されて前記回転子に設けられた整流子に接触する1対のブラシと、前記1対のブラシに電気的に接続された1対の導線と、前記1対の導線の先端に基端がそれぞれ接続されて前記ブラシ保持板のリード導出部に平行に設けられた1対のリード導出溝をそれぞれ通して外部に導出された1対の外部導出リード線と、前記整流子との接触部で発生して前記1対のブラシ側に伝わるノイズを吸収する1対のノイズ吸収用コンデンサとを備え、前記1対のノイズ吸収用コンデンサはそれぞれの前記一方のコンデンサリード線の先端が対応する側で前記導線の先端及び前記外部導出リード線の基端と共に圧着金具で接続され、それぞれの前記他方のコンデンサリード線の先端が共通のアース用圧着端子で相互に接続されて接地され、前記ブラシ保持板のリード導出部には前記1対のリード導出溝の間に隔壁部が前記外部導出リード線の導出方向とは逆方向に延長して設けられ、前記隔壁部の延長方向の端部には直交する向きでストッパ壁部が設けられ、前記1対の導線は前記ブラシ保持板に設けられたそれぞれ対になった導線保持壁の間に配置されているブラシ付き直流電動機において、前記ブラシ保持板には前記隔壁部の延長部分の両側で且つ前記リード導出部と前記ストッパ壁部との間の部分に1対のコンデンサ収容室が設けられ、これらコンデンサ収容室には対応する側の前記各ノイズ吸収用コンデンサが収容され、前記1対のリード導出溝には各側の前記外部導出リード線と前記他方のコンデンサリード線とが収容されて前記カバー部の外に導出され、前記他方のコンデンサリード線を共通に接続している前記アース用圧着端子は前記カバー部の外で該カバー部の外面に電気的に接続され、前記リード導出部には押え板位置決め部が設けられ、前記ブラシ保持板に前記リード導出部を介して対向する側で前記1対のリード導出溝と前記1対のコンデンサ収容室を塞ぐ位置には絶縁押え板が前記リード導出部の押え板位置決め部と該絶縁押え板の押え板位置決め部とで位置決めされて配置され、前記絶縁押え板には前記1対のリード導出溝にそれぞれ挿入されて内部の外部導出リード線と前記他方のコンデンサリード線とを押える1対の線押え突起部が設けられていることを特徴とするブラシ付き直流電動機。

【請求項2】 前記絶縁押え板には、前記導線押え壁の間の空間を塞ぐ導線側カバー部が設けられていることを特徴とする請求項1に記載のブラシ付き直流電動機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ブラシ付き直流電動機の整流火花に起因するノイズの発生を抑制するためのノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図5～図8は従来のブラシ付き直流電動機の構造を示したもので、図5は従来例でのブラシ付き直流電動機の要部縦断面図、図6は図5のX-X線断面図、図7は従来例でのブラシの導線と外部導出リード線との接続状態を示す説明図、図8は従来例でのブラシ保持板の正面図である。

【0003】このブラシ付き直流電動機では、図示のようにほぼ円筒状の鉄の如き金属製のハウジング1を有する。ハウジング1は、略円筒状に形成されたハウジング本体2と、該ハウジング本体2の端部を閉じるリヤカバー部3とを備えている。ハウジング1内には、回転子4と固定子5とが配置されている。

【0004】回転子4は、回転軸6の外周に固定された回転子鉄心7と、該回転子鉄心7のスロットに巻回された電機子巻線8とを備えて構成されている。また、回転軸6の外周には整流子9が固定され、電機子巻線8はこの整流子9に接続されている。回転軸6は、リヤカバー部3の内面中央に設けられた軸受10に回転自在に支持されている。

【0005】固定子5は、ヨークを兼ねたハウジング本体2と、その内周に固定された永久磁石11により構成されている。

【0006】ハウジング1のカバー3の内側には、整流子9に隣接させてブラシ保持板12が配置されている。ブラシ保持板12は、図8に示すように、ブラシ保持板12は、回転軸6をゆるく貫通させる孔13と、整流子9に接触する1対のブラシ14を嵌合させて該ブラシ14を整流子9の径方向に摺動自在に保持する1対のブラシ保持部15と、取付け用のネジを貫通させる複数の取付け孔16と、各ブラシ14につながるヒゲテールと呼ばれる導線17を保持するために各側でそれぞれ対として設けられた導線保持壁18、19と、ブラシ14を付勢するバネ20を保持するバネ保持突起21とを有している。このブラシ保持板12は、各取付け孔16を貫通させたネジ22をリヤカバー部3のネジ孔に螺入することによりハウジング1に対して固定されている。各導線17の先端には、外部導出リード線23の基端が圧着金具24で接続されている。

【0007】ブラシ保持板5には、またリード導出部25が設けられている。このリード導出部25には、1対の外部導出リード線23を導出するために1対のリード導出溝26が設けられている。各リード導出溝26は、圧着金具24が抜け出さない寸法に形成されている。リード導出部25には、1対のリード導出溝26の間に隔壁部27が外部導出リード線23の導出方

整流子9側)に延長して設けられてい  
隔壁部27の延長方向の端部には、直交する向きで  
ストップ壁部28が設けられている。リード線導出溝2  
6は、ハウジング1のリヤカバー部3の周壁部に設けら  
れた窓29を通して外部に露呈され、外部導出リード線  
23はそれぞれリード線導出溝26を通して外部に導出  
されている。

【0008】このようなブラシ付き直流電動機では、整  
流子9とこれに接触する各ブラシ14の箇所が発生する  
整流火花に起因するノイズの発生をノイズ吸収用コンデ  
ンサで抑制することが行われている。

【0009】図9～図11は従来のノイズ吸収用コンデ  
ンサを備えたブラシ付き直流電動機の構成の要部を示し  
たもので、図9は従来のノイズ吸収用コンデンサを備え  
たブラシ付き直流電動機におけるノイズ吸収回路の構成  
図、図10は従来のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラ  
シ付き直流電動機におけるブラシの導線と外部導出リ  
ード線とノイズ吸収用コンデンサとの接続状態を示す説  
明図、図11は従来のノイズ吸収用コンデンサを備えた  
ブラシ付き直流電動機でブラシ保持板に部品を組み込ん  
だ状態の正面図である。

【0010】このようなノイズ吸収用コンデンサを備え  
たブラシ付き直流電動機では、図示のように、1対のノ  
イズ吸収用コンデンサ30が、その一方のコンデンサリ  
ード線31aの先端を導線17の先端及び外部導出リ  
ード線23の基端と共に圧着金具24で接続し、これら1  
対のノイズ吸収用コンデンサ30の他方のコンデンサリ  
ード線31bを共通のアース用圧着端子32で相互に接  
続し、該アース用圧着端子32を接地部材としての金属  
製のハウジング1のリヤカバー部3に接続することによ  
り、取付けられている。外部導出リード線23は直流電  
源Eに接続されている。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このよ  
うな構造の従来のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラ  
シ付き直流電動機では、次のような問題点があった。

【0012】(a) 各ノイズ吸収用コンデンサ30がブラ  
シ保持板12から浮いた状態になっていたため、これ  
らノイズ吸収用コンデンサ30が振動によって動き易い  
状態にあり、各ノイズ吸収用コンデンサ30が動くこと  
で、コンデンサリード線31a、31bが振動による疲労で  
断線を招く恐れがあった。

【0013】(b) また、各ノイズ吸収用コンデンサ30  
が動くこと、導線17とアース用圧着端子32とが接触  
し、導線17が接地される恐れがある。

【0014】(c) 各外部導出リード線23を押し込む  
ような外力が作用すると、各導線17が持ち上げられ、  
各ノイズ吸収用コンデンサ30と導線17が浮き上が  
り、近くにある他の金属と接触する恐れがある。

【0015】(d) 各ノイズ吸収用コンデンサ30を、

振動で動かないように接着剤でブラシ保持板12に固定  
することが考えられるが、この場合には接着作業に多くの  
工数を要し、コスト高となる問題点がある。

【0016】本発明の目的は、ノイズ吸収用コンデンサ  
が振動で動かないように簡単に固定することができるブラ  
シ付き直流電動機を提供することにある。

【0017】本発明の他の目的は、ノイズ吸収用コンデ  
ンサと、ブラシの導線とが振動で動かないように簡単に  
固定することができるブラシ付き直流電動機を提供する  
ことにある。

【0018】

【課題を解決するための手段】本発明は、金属製のハウ  
ジング内に配置された回転子及び固定子と、ハウジング  
の金属製のカバー部内に固定されたブラシ保持板と、該  
ブラシ保持板に保持されて回転子に設けられた整流子に  
接触する1対のブラシと、これらブラシに電気的に接続  
された1対の導線と、これら導線の先端に基端がそれぞ  
れ接続されてブラシ保持板のリード線導出部に平行に設  
けられた1対のリード線導出溝をそれぞれ通して外部に  
導出された1対の外部導出リード線と、整流子との接触  
部で発生して1対のブラシ側に伝わるノイズを吸収する  
1対のノイズ吸収用コンデンサとを備え、これらノイズ  
吸収用コンデンサはそれぞれの一方のコンデンサリード  
線の先端が対応する側で導線の先端及び外部導出リ  
ード線の基端と共に圧着金具で接続され、それぞれの他方の  
コンデンサリード線の先端が共通のアース用圧着端子で  
相互に接続されて接地され、ブラシ保持板のリード線導  
出部には1対のリード線導出溝の間に隔壁部が外部導出  
リード線の導出方向とは逆方向に延長して設けられ、隔  
壁部の延長方向の端部には直交する向きでストップ壁部  
が設けられ、1対の導線はブラシ保持板に設けられたそ  
れぞれ対になった導線押え壁の間に配置されているブラ  
シ付き直流電動機を改良するものである。

【0019】本発明に係るブラシ付き直流電動機におい  
ては、ブラシ保持板には隔壁部の延長部分の両側で且つ  
リード線導出部とストップ壁部との間の部分に1対のコン  
デンサ収容室が設けられている。これらコンデンサ収  
容室には、対応する側の各ノイズ吸収用コンデンサが収  
容されている。1対のリード線導出溝には、各側の外部  
導出リード線と他方のコンデンサリード線とが収容され  
てカバー部の外に導出されている。他方のコンデンサリ  
ード線を共通に接続しているアース用圧着端子は、カバ  
ー部の外で該カバー部の外面に電気的に接続されてい  
る。リード線導出部には、押え板位置決め部が設けられ  
ている。ブラシ保持板にリード線導出部を介して対向す  
る側で1対のリード線導出溝と1対のコンデンサ収容室  
を並ぐ位置には、絶縁押え板がリード線導出部の押え板  
位置決め部と該絶縁押え板の押え板位置決め部とで位置  
決めされて配置されている。絶縁押え板には、1対のリ  
ード線導出溝にそれぞれ挿入されて内部の外部導出リ  
ード線と他方のコンデンサリード線とが収容されてい  
る。

と他方のコンデンサリード線とを押える1対の線押え突起部が設けられている。

【0020】このようにブラシ保持板に隔壁部の延長部分の両側で且つリード線導出部とストッパ壁部との間の部分に1対のコンデンサ収容室を設け、これらコンデンサ収容室に対応側のノイズ吸収用コンデンサを収容し、その上を絶縁押え板で押えると、ノイズ吸収用コンデンサが振動で動かないように簡単に固定することができる。このためノイズ吸収用コンデンサの振動によるコンデンサリード線の疲労断線を防止することができる。また、絶縁押え板は、1対のリード線導出溝にそれぞれ挿入される1対の線押え突起部を備え、これら線押え突起部で各リード線導出溝内の外部導出リード線と他方のコンデンサリード線とを押えるので、これら外部導出リード線と他方のコンデンサリード線との振動や外力による移動を防止することができる。この絶縁押え板は、押え板位置決め部でリード線導出部に位置決めされているので、所要の位置に対する該絶縁押え板の位置決めが容易になると共に使用中に該絶縁押え板が移動してしまうのも確実に防止することができる。

【0021】この場合、絶縁押え板には、導線押え壁の間の空間を塞ぐ導線側カバー部を設けることが好ましい。このようになっていないと、各ブラシの導線の振動による飛び出しも防止することができる。

【0022】

【発明の実施の形態】図1(A)(B)乃至図4は本発明に係るノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機における実施の形態の一例を示したもので、図1(A)(B)は本例のブラシ付き直流電動機で用いて部品が組み込まれているリヤカバー部の背面図及び側面図、図2はこのリヤカバー部のみの正面図、図3は本例のブラシ付き直流電動機で用いているブラシ保持板の正面図、図4(A)は本例でブラシ保持板に取り付ける絶縁押え板の底面図、図4(B)は図4(A)の左側面図である。なお、前述した図5〜図11と対応する部分には、同一符号を付けて示している。

【0023】この例のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機においても、前述した図10に示したように、1対のノイズ吸収用コンデンサ30が、その一方のコンデンサリード線31aの先端を導線17の先端及び外部導出リード線23の基端と共に圧着金具24で接続し、これら1対のノイズ吸収用コンデンサ30の他方のコンデンサリード線31bを共通のアース用圧着端子32で相互に接続し、該アース用圧着端子32を接地部材としての金属製のハウジング1のリヤカバー部3に接続することにより、取付けられている。

【0024】このようなノイズ吸収用コンデンサ30を備えたブラシ付き直流電動機においては、ブラシ保持板5には隔壁部27の延長部分の両側で且つリード線導出部25とストッパ壁部28との間の部分に1対のコンデ

ンサ収容室33が設けられている。これらコンデンサ収容室33には、対応する側の各ノイズ吸収用コンデンサ30が収容されている。

【0025】リード線導出部25における1対のリード線導出溝26には、各側の外部導出リード線23と他方のコンデンサリード線31bとが収容されてリヤカバー部3の外に導出されている。他方のコンデンサリード線31bを共通に接続しているアース用圧着端子32は、リヤカバー部3の外で該リヤカバー部の外面に電気的に接続されている。この例では、アース用圧着端子32はブラシ保持板12をリヤカバー部3のネジ孔3aに螺合して固定しているネジ22のリヤカバー部3からの突出部分に嵌められてナット34の締結により電気的、機械的に接続されている。

【0026】リード線導出部25の隔壁部27上には、1対の突起よりなる押え板位置決め部35が設けられている。またこの例では、導線17を保持する各1対の導線保持壁18、19のうち外側の導線保持壁18が、リード線導出部25側に延長されて一体化されている。

【0027】ブラシ保持板12にリード線導出部25を介して対向する側で1対のリード線導出溝26と1対のコンデンサ収容室33を塞ぐ位置には、絶縁押え板36がリード線導出部24の凸形の押え板位置決め部35と該絶縁押え板36の凹形の押え板位置決め部37とで位置決めされて配置されている。絶縁押え板36には、1対のリード線導出溝26にそれぞれ挿入されて内部の外部導出リード線23と他方のコンデンサリード線31bとを押える1対の線押え突起部38が設けられている。また、この絶縁押え板36には、導線保持壁18、19の間の空間を塞ぐ導線側カバー部36aが設けられている。

【0028】このようなノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機では、ブラシ保持板5に隔壁部27の延長部分の両側で且つリード線導出部25とストッパ壁部28との間の部分に1対のコンデンサ収容室33を設け、これらコンデンサ収容室33に対応側のノイズ吸収用コンデンサ30を収容し、その上を絶縁押え板36で押えるので、各ノイズ吸収用コンデンサ30が振動で動かないように簡単に固定することができる。このためノイズ吸収用コンデンサ30の振動によるコンデンサリード線31a、31bの疲労断線を防止することができる。また、絶縁押え板36は、1対のリード線導出溝36にそれぞれ挿入される1対の線押え突起部38を備え、これら線押え突起部38で各リード線導出溝36内の外部導出リード線23と他方のコンデンサリード線31bとを押えるので、これら外部導出リード線23と他方のコンデンサリード線31bとの振動や外力による移動を防止することができる。この絶縁押え板36は、押え板位置決め部35、37でリード線導出部25に位置決めされているので、所要の位置に対する該絶縁押

36の位置決めが容易になると共に使用中に該絶縁押え板36が移動してしまうのも確実に防止することができる。さらに、絶縁押え板36には、導線押え壁18、19の間の空間を塞ぐ導線側カバー部36aが設けられているので、各ブラシ14の導線17の振動による飛び出しも防止することができる。

【0029】

【発明の効果】本発明に係るブラシ付き直流電動機においては、ブラシ保持板に対して隔壁部の延長部分の両側で且つリード線導出部とストッパ壁部との間の部分に1対のコンデンサ収容室を設け、これらコンデンサ収容室に对应側のノイズ吸収用コンデンサを収容し、その上を絶縁押え板で押えているので、ノイズ吸収用コンデンサが振動で動かないように簡単に固定することができる。このためノイズ吸収用コンデンサの振動によるコンデンサリード線の疲労断線を防止することができる。また、絶縁押え板は、1対のリード線導出溝にそれぞれ挿入される1対の線押え突起部を備え、これら線押え突起部で各リード線導出溝内の外部導出リード線と他方のコンデンサリード線とを押えているので、これら外部導出リード線と他方のコンデンサリード線との振動や外力による移動を防止することができる。この絶縁押え板は、押え板位置決め部でリード線導出部に位置決めされているので、所要の位置に対する該絶縁押え板の位置決めが容易になると共に使用中に該絶縁押え板が移動してしまうのも確実に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(A) (B)は本発明に係るノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機における実施の形態の一例における部品が組み込まれているリヤカバー部の背面図及び側面図である。

【図2】図1に示すリヤカバー部のみの正面図である。

【図3】本例のブラシ付き直流電動機で用いているブラシ保持板の正面図である。

【図4】(A)は本例でブラシ保持板に取り付ける絶縁押え板の底面図、(B)は(A)の左側面図である。

【図5】従来のブラシ付き直流電動機の構造を示した要部縦断面図である。

【図6】図5のX-X線断面図である。

【図7】従来例でのブラシの導線と外部導出リード線との接続状態を示す説明図である。

【図8】従来例でのブラシ保持板の正面図である。

【図9】従来のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機におけるノイズ吸収回路の構成図である。

【図10】従来のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラ

シ付き直流電動機におけるブラシの導線と外部導出リード線とノイズ吸収用コンデンサとの接続状態を示す説明図である。

【図11】従来のノイズ吸収用コンデンサを備えたブラシ付き直流電動機でブラシ保持板に部品を組み込んだ状態の正面図である。

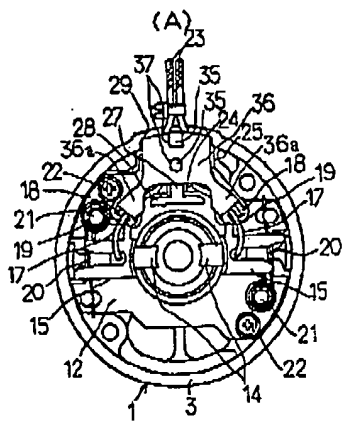
【符号の説明】

- 1 ハウジング
- 2 ハウジング本体
- 3 リヤカバー部
- 4 回転子
- 5 固定子
- 6 回転軸
- 7 回転子鉄心
- 8 電機子巻線
- 9 整流子
- 10 軸受
- 11 永久磁石
- 12 ブラシ保持板
- 13 孔
- 14 ブラシ
- 15 ブラシ保持部
- 16 取付け孔
- 17 導線
- 18, 19 導線保持壁
- 20 バネ
- 21 バネ保持突起
- 22 ネジ
- 23 外部導出リード線
- 24 圧着金具
- 25 リード線導出部
- 26 リード線導出溝
- 27 隔壁部
- 28 ストッパ壁部
- 29 窓
- 30 ノイズ吸収用コンデンサ
- 31a 一方のコンデンサリード線
- 31b 他方のコンデンサリード線
- 32 アース用圧着端子
- 33 コンデンサ収容室
- 34 ナット
- 35 押え板位置決め部
- 36 絶縁押え板
- 36a 導線側カバー部
- 37 押え板位置決め部
- 38 線押え突起部

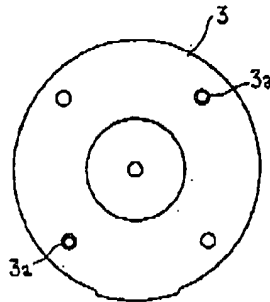


(6) 備2000-23434 (P2000-23434A)

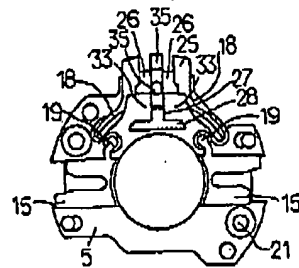
【圖1】



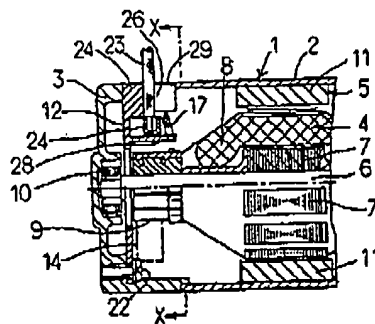
【圖2】



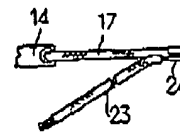
【圖3】



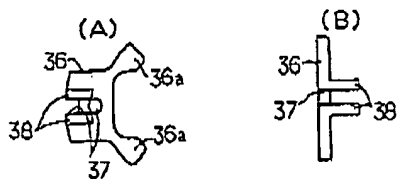
【圖5】



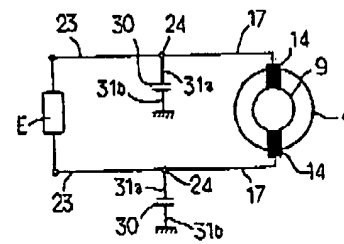
【圖7】



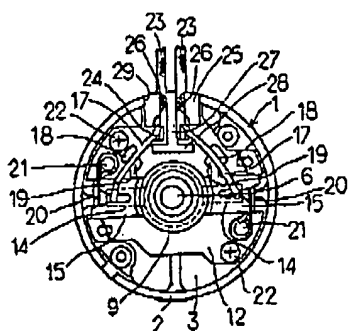
【圖4】



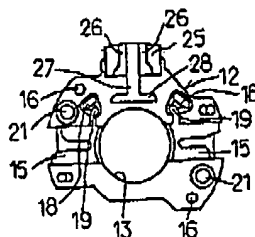
【圖9】



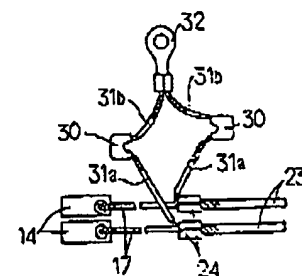
【圖6】



【圖8】

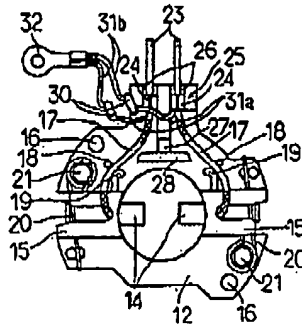


【圖10】



(7) 冊2000-23434 (P2000-23434A)

【図11】



フロントページの続き

Pターム(参考) 5H605 AA04 AA05 AA13 BB05 BB09  
CC02 CC03 CC06 CC07 CC08  
CC10 DD03 EA10 EA14 BA21  
EA27 EC04 EC05 EC08 EC14  
EC20 FF01 GG06  
5H611 AA00 BB01 BB03 TT06 UA04  
UB01  
5H623 AA03 AA04 BB07 GG11 HH04  
HH05 JJ03 JJ06 JJ11 LL02  
LL06 LL07 LL13